

開催日・時間	セッション	講師	タイトル	所属
2016/7/4(Mon)	1. 質量分析基礎講座	阿久津 弘明	質量分析の基礎の基礎	旭川医科大学
		笠間 健詞	タンパク質解析・メタボローム解析 – 依頼分析する側の日々	東京工業大学
	2. 新技術紹介			
	3. 基調講演	永井 美之	基調講演 「国境なき感染症にそなえる知のネットワーク J-GRID 10年の歩み」	理化学研究所研究顧問、東京大学名誉教授、名古屋大学名誉教授
	ナイトセッション			
2016/7/5(Tue)	4. 特別講演	小田 吉哉	特別講演 「創業におけるバイオマーカーの役割」	イーザイ株式会社
	5. MSの医療応用	足立 淳	バイオマーカー・コンパニオンマーカー開発のためのプロテオミクス基盤技術開発	医薬基盤・健康・栄養研究所
		有田 誠	リポクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究	理化学研究所
		野村 文夫	マススペクトロメトリーにより大きく変貌する臨床検査 – 現状と課題 –	千葉大学
		竹田 扇	質量分析から医療機器への道程	山梨大学
		馬場 健史	メタボローム解析における試料調製	九州大学
	6. MSを生かす前処理技術	安藤 孝	MSの進化がもたらした残留農薬分析前処理の簡略化	食の安全分析センター
		吉田 優	メタボロミクスによる早期大腸癌スクリーニングシステムの開発	神戸大学
		小寺 義男	様々な前処理技術を用いた血漿プロテオミクス・ペプチドミクス	北里大学
		7. 公募ポスターセッション		
パラレルセッション	8. 薬物動態	佐野 善寿	薬物動態とMS : Overview	株式会社サンブラネット
		只野 純	イメージング質量分析法の創薬研究への応用	大日本住友製薬株式会社
		西宮 一尋	ADC (Antibody-Drug Conjugate) 測定とその解釈 – Kadcyla (T-DM1) を例として	中外製薬株式会社
		清水 敦司	イオンモビリティを利用した代謝部位同定に関する提案	大鵬薬品工業株式会社
パラレルセッション	9. バイオ医薬品	有坂 文雄	超遠心分析および静的光散乱法を用いた蛋白質の性状及び相互作用解析	日本大学 東京工業大学名誉教授
		津本 浩平	蛋白質相互作用の物理化学解析と創薬	東京大学
		吉田 麻希	抗体医薬品の品質特性解析におけるminor modification評価	中外製薬工業株式会社
		天野 正人	質量分析によるバイオ医薬開発候補品の初期物性評価	第一三共株式会社
	ナイトセッション			
2016/7/6(Wed)	10. MSのフロンティア	小椋 康光	質量分析法を基盤としたセレノメタボロームの解析	千葉大学
		川村 猛	エビゲノム創薬と質量分析	東京大学
		鈴木 仁	東京都における危険ドラッグの分析 – 流行の推移や分析時の注意点	東京都健康安全研究センター
		津川 裕司	低分子化合物網羅的解析のためのデータ処理・同定技術の開発	理化学研究所
		福田 真嗣	メタボロゲノミクスによる腸内細菌叢の機能理解とその制御	慶應義塾大学